（七日夕刊）

休刊日　第一・第三日曜

定價　一ケ月　部二錢　郵税六十錢　十五錢

廣告料　壹行六十錢指定廿錢均

發行兼編輯印刷人　遠沼熊輔

福島縣平町田町十六番地

發行所　磐城新聞社

電話五六四番

思ひ出草（27）

哲

古いスクラップブックから

俺が村

2

湯本の卷

□□□

一と波瀾を避け難い
十日の續行町會
刮目さるる第三案派の暗躍
□□□各町議異常の緊張振り

深更午前零時に及びあはや派の策動は所謂第三案支持連續二日越しの討議論駁に派が熱心且つ巧妙にして第全國町村會中斷然會議最長時間の異彩ある記錄を作りかけた去る四日の平町會に就ては必ある一部町民が各議員の健闘振りに對し寧ろ驚異に近き感謝を拂ふ一面殺氣立つだ第三案贊成の傍聽者中第一案支持の某議員に「覺えて居ろ」等の穏かならぬ罵聲を加へて神聖な議場を濁かしたものあるやの消息などを聽き傳へ平町の爲眞に遺憾に堪えぬとして居る向も少くない樣である、空氣既に斯の如く四日に引續き來十日午前十時から招集さるる繼續町會も亦可なりの活氣を呈するものと豫想されて居る矢先一兩日來各町議の往復頻繁を加へ或は町議同志が街頭長時間の立ち話しなどに一種の物々しい光景を見せそゞろに當日の只ではたまらぬ雲行きを暗示してゐるが目下の大勢を見るに兩派の策動は所謂第三案支持一案派は單に守勢の態度に出て敢て積極的の活動に出でぬものの如く觀測さるる節あり仄聞する處によれば第三案の貫徹遂行に邁進し居る某々町議はこの程立てゐる某々町議はこの程立つだ第三案贊成の傍町某氏宅に某關係者を招き些か公明を缺く或る種の慫慂をなしたらしくその際に於ける交渉の成否は勿論之れを窺知し得ざるものあるとの潜行的計劃は可なり組織的に進行中なるものの如くなるに對し第一桜支持の一部に在つては棹尾の五分間から招集さるる繼續町會に於て反對某町議の公開を亦可なりの活氣を呈するものと豫想されて居る矢先一兩日來各町議の往復頻繁を加へ或は町議同志が街頭長時間の立ち話しなどに一種の物々しい光景を見せそゞろに當日の只ではたまらぬ雲行きを暗示してゐるが目下の大勢を見るに兩

日本銀行宗像福島支店長氏

昨六日午後三時五十二分の磐越線上り列車にて平驛着中村常磐、安部農工、山田七十七各支店長及草野磐銀取締役等の出迎を受け直に自動車にて月見町片倉製糸工場を視察の上住吉屋本店に一泊今七日は早朝から山田七十七支店長の案内にて四倉豊間江名小名濱各濱より入山炭礦を視察し更らに植田町勿來關を經午後一時十分植田發の下り列車にて原の町に向つたが岡氏今回の出張は時節柄濱通り方面の初視察旁々休業銀行の甦生に關する資料蒐集を兼ねた旅行ではないかと想像さ

宗像日銀支店長
濱通り各地視察
一般的調査旁々
休銀甦生の資料蒐集乎

靴專門の賊
平署に捕はる

平商、磐中始め各學校では去八月頃から生徒の靴が二三日に一足宛、らい紛失する怪事件が續き職員も困り抜いて再三喫煙者狩と同時に非常檢査を行つてゐたがそれらしき者も見當らず今日に及んだが昨六日午後十時頃平署員が長橋町地内を徘徊中二十歳前後の勞働者の態の男の擧動不審なので署に連行目下嚴重取調中であるが仄聞する處に依れば右は當時住所不定無職宮城縣仙臺市北白町生れ武田清三

五哩半のマラソン
競走
十二日磐中で

磐中では來十二日午前九時から同校年中行事の一つである全校生徒の五哩五分マラソン競走を行ふが當日は午前九時同校出發舊磐察署前から紺屋町、長橋町を經小島から谷川瀬山下路新田橋、新川町に出て本町通りを眞っ直ぐに再び舊平署前に出て歸校する豫定でクラス對抗とし優良者には賞品を授與すると

教育視察員
石城郡部會から
縣外派遣決定

石城郡教育部會派遣の關西地方教育視察は湯本尋常小學校訓導長谷川榮泉農業公民學校教諭鈴木盛壽の兩氏であるが七日出發奈良縣の阿山郡東拓植郎實業補習學校同郡川合實業補習學校及び奈良高等師範學校及廣島高等師範學校の附屬小學校等を視察する筈で期日は一週間の豫定であると

投槍
投稿歓迎

接客業者へ

◇公德心の尊重はいよ〳〵強く叫ばれて來た、これについて一般から認められてゐて、中々改善されないことは接客業者の衛生心掛けである。

◇先づ理髮業者がある、これは市街地は比較的いゝやうに思はれるが、炭礦や漁農村になると衛生觀念のかけてゐる事はひどい、知らつゝ面倒くさい意味もあり、規則通りにやらないでもいやな氣になる、何の仕事をしてゐたか分らず、ばかりで學校は經營は出來ない。そんなことも思つて殊に小兒等のある菓子屋などは、一層この感じを深くもらふよ。

◇これ等のことはあまり毎日のことなので見過ごされてゐる、旅館、料理店など一般の接客業者も僅かの注意で、我々の生活が氣持ちよくなるのだから、細心の注意を願ひたい。

（入山心痛生投）

高いか？授業料

經濟的に苦しい故に退學をさせるといふ保護者の言葉には同情に堪へないものとも千萬だ、しかし授業料學校の如き運營費といふ部に屬してゐる速中の選手の費用にばかり使用されるが如き、極めて不合理だ。横暴だ。

◇選手自身は自分の使用する道具は自分の金で買つて使用すればよいのだ、この意味で大いに改革なすべき點が大いにあるんだ、同窓會費などもどんな風に使用されてゐるかを明白にしたいものだと思ふ。實に無意味の金をあつめてゐると思ふ。

（中）

◇取締方法も緩慢で形式に流れてゐる、店頭に消毒藥は必ず備へつけさせてあるが、看板では何んにもならない、規則の實施には形式より當業者の心の教育に重きをおかねばだめであらう。

◇菓子舗に注意していたゞきたい事は、客の前で品物を容器からとりだす場合直接そのまゝの手で扱ふことである。今のやうな扱ひ方では如何に無頓着な人間かも知れないが、一客毎に器具の消毒を實行してゐる店はほとんどない。

◇取締方法も緩慢で形式に流れてゐる、店頭に消毒藥は必ず備へつけさせてあるが、看板では何んにもならない、規則の實施には形式より當業者の心の教育に重きをおかねばだめであらう。

◇菓子舗に注意していたゞきたい事は、客の前で品物を容器からとりだす場合直接そのまゝの手で扱ふことである。今のやうな扱ひ方では如何に無頓着な人間

若い訓導の怪死
三坂生れの阿部重信君

白河第一小學校教諭同町字本町五九石川屋旅館常世方止宿阿部重信(三)は昨日午前七時に至るも起床せざるを怪し抗し優良者には賞品を授與すると

福島地方裁判所白河支部で檢證を行ふと共に重信の死因について調査せる處自殺と居室一面の流血に驚き駆けつけ白河署に急報したので吉田警長以下駐在巡査

酒井銅像
十六日除幕式

平陽女學校同窓會では校長酒井みよ女史に對する謝恩的事業として過般來同校庭に女史の銅像建設工事中であつたのところこの程愈々竣工したので來十六日の日曜日を期し除幕式を擧行すると

漁農村救濟資金
借入れ額其他を協議
養蠶同業組合員が
十二日平町に會合

郡養蠶同業組合の各町村役場勸業主任低利資金借入れ打合會は來十二日午前九時から郡農會樓上で開催各勸業主任が自町村借入れ希望者を取纏めの之れを同會に提出借入れ方法其他に就て協議する筈であるが先般農林省より本縣の農漁村救濟資金として割當てられた金額は二百三十八萬三千圓で四分二厘の低利なるに加へ二ケ年据置五ケ年償還と云ふ疲弊の極にある漁農村にとつては非常に便宜な條件である爲、借入れ申込み多數の模樣で果して希望者全部の要求を容るることが出來るかどうかを危ぶまれてゐる當局者の語る處に依れば農林省が農漁村救濟の意味で貸出す金高は現在の農漁村にとつてまさに燒石に水の程度であるがそれでも借入れすには立切かれぬ程行きまつてゐる結果蟻の甘きに集る樣に希望者の殺到を見てゐるとの事で尚十四日に更らに同所で午前十時から同組合技術員八名其他省より本縣の農漁村救濟資金から同組合に割當てられた金額當局者會合し前記問題に就き協議をなす由

古河礦業各係の對抗爭覇野球戰
九日小館球場で

古河鑛業所の各係野對抗野球爭覇リーグ戰は九日午前八時から小館グラウンドにて開催されるが各係のメンバー次の如し

捕本瀧齊崎田清成藤
經松大安島原榎鈴金佐
礦田沼二橋月貞萩穗口
木田田
採鑛大鎧高香爾高鹿田
搬本潔坂林邊田藤田塚
運橋鈴下小渡大武吉手
量槻坂木桑須橋智瀬川
監大下鈴高黒高明村長谷
械瀬山橋村沼合田角川
機安藤高飯澤林銀川長谷
轉上藤井藤田藤川田
運井間伊溝石山後長櫻
作賀橋木藤野齊村山邊
工志高鈴伊近安川富山
工田川島木松藤角本田
木飛長武正若齊川坂飛谷
投捕一二三遊左中右

看護婦助産婦
合格者
平署管内の分

去月中福島市公開堂に行はれた産婆看護婦試驗受驗者中平署管内の合格者左の如し

（産婆看護婦試驗合格者）
赤畑リウ子、菅野菊枝、丹野ユキ子、熊上タケヨ、立花ミヨ子、大友ハツ子、鈴木文子、（産婆學校試驗合格者）檜石フク子、（灸術合格者）深瀬雄一

平町工事入札
平町

長橋町鈴木仙藏は一日長

判檢事辯護士一行
夜間の實地檢證
尊屬傷害致死事件で
明八日新山町へ

双葉郡新山町半谷寛(四二)が去る五月十六日夕刻金錢の事から實父權兵衛(六五)と口論の末之れを傷害死に至らしめたる尊屬傷害致死事件の第一回公判は去月二十一日平支部に於いて中島裁判長係り關口、山本兩判事陪席武田檢事關與、千葉、眞木兩辯護士立會開廷されたが前記判檢事及辯護士一行は明八日同地に出張午後一時から證人の取り調べをなした上午後八時より一同現場の夜間檢證をなす筈である

平署へ飛び込んで
涙の自廢願ひ
周圍の迫害に泣く
茨城生れの岡崎女郎衆

平署へ六日午前十一時頃深い事情で自由廢業をしたいと願出た酌婦態の女があるので係官が事情を訊ねると右は茨城縣多賀郡松原町川尻松崎五郎二女ミヨノ(三三)で家庭の貧困から昨年三月中前借千七百圓で愛知縣岡崎市遊廓錦樓事今泉弘方の娼妓に住込んだが去る八日父五郎が危篤の電報で弘と共に歸郷した際主人の弘が情を通じ五郎病亡後歸樓し相愛らす勸めてゐたが最近朋輩や女將に感ずかれそのにくしみを受けて居たゝまらず無斷で同樓を脱け出し伯母に當る平町鎌田町根本製米所根本ハルを逃る〳〵訪ねて來たものであるが別平町十月中の人事動態は出生七一、死亡五十一、婚姻十四であるが昨年同期は出生七三、死亡三四、婚姻九で出生は大差ないが死亡婚姻に於て大なる增加を示してゐる

平町人口動態
死亡と婚姻增加

泥棒と云はれ憤慨して告訴

平町七丁目五一製飴業小野寺金雄は持家居住同番地金融仲介田久要吉から盗賊呼ばはされたとふんがいし七日平署に告訴したと

鳥小屋二棟
今曉内郷の火事
午前五時

磐内郷村宮字町田六〇巻幸一(三八)の鶏舎から發火鶏舎二棟金燒五時四十分鎮火したが損害百圓原因は保温火から附近に置いた藁屑に飛火したものであると

古川記者著任
時事

新報平通信部樋田記者の後任として米澤より古川信一氏昨六日著任各方面に就任

四倉の花月
四倉町驛

主人公佐藤氏の月下氷人振り前通り花月食堂は常に客本位の奉仕振りを發揮し一般から好評を博して居るが主人佐藤幸三郎氏は女給の教養に意を用ゐ本人の希望によつては身せにを切つて自身月下氷人となり適當の配偶者を求めて幸福な家庭の人たらしめたもの今年中すでに五人に達し今月中更に一件の目出度が出來かけてゐるので近頃珍らしい變り種だとその篤行を讃へられてゐる

辭令
磐城中學校教諭
廣田德行
高等官六等待遇

明の日 吉の凶
舊九月十日 新一月十日
曆八月十日 曆八月十日

▲一白の人　小成を安んじ易くして持續心に乏き日なり▲二黑の人　文書は徐程注意せざれば憂を殘すことあり▲三碧の人　小利にくらみて大勢を誤る事あり出納注意▲四綠の人　基礎を固めの捗らぬとゝ粘ばり強くするが吉▲五黃の人　思はず知らず無理心の生ずる日注意すべし▲六白の人　正しき道によれば何事も通達する强運の日▲七赤の人　商事は目上に謀りて遂算なき樣注意すべし▲八白の人　平和を祈れば無事なれども進展は望めぬ日▲九紫の人　待ちに待ちたる甘露の日和となるべき吉日

教育勅語煥發四十周年記念
大講演會
期日　來九日午後一時
會場　湯本小學校新校舍
主催　湯本町長　小泉三代喜
同　校長　篠原保治

專門　内科一般
内科ハ何デモ診療致シマス
呼吸器病バカリデハアリマセン
平町南町六五
川井内科診療所
電話一八二番
醫學士　川井童之
女醫　川井安子

新築落成
耳、鼻、咽喉科（專門）
氣管食道科
平町南町（舊診療所向電一七〇番）
大和田醫院
大和田郡司
自炊の便あり

今般全員ノ協議ニ基キ左ノ事項決議致候ニ付キ大方ノ諸彦何卒御了承被下度願上候
敬白
一、自今酒壹本ノ定價
金參拾五錢、金四十錢、金五十錢ノ三種ニ分ツ、但シ御客樣ノ申込ミニヨリ宴會等ノ場合ハ便宜取計ヒニ應ズル事
一、ビール壹本金六十錢（高級品）
一、サイダ壹本金三十錢（金線三矢シトロン）
一、酒ビール、サイダノ持込ミハ絶對廢止スル事
右之通リ通達ノ日ヨリ實施仕候事
平料理屋組合
顧客各位

吉田眼科病院
平町紺屋町

秋とサロン
サロンの黑ビール
天高く
氣朗かに
醇味にして
芳醇の
黑ビールを召せ
サロン
電話三五番